

長野県
PTA
連合会

結成70周年記念式典

長野県
PTA
新聞



「学びと連携」で新しい時代へ

長野県PTA連合会は平成30年度に結成70周年を迎え、平成31年4月13日信濃教育会館において記念式典を挙行了。阿部守一長野県知事をはじめとする来賓の方々、平成20年度からの歴代の正副会長など120名が出席した。

共に全ての子どもたちのために



長野県知事
阿部守一氏

皆さんのお力で、長野県の子どもたちが守られ、長野県の教育や地域社会がこれまで発展してきましたことを心から感謝申し上げます。
長野県も日本全体も、教育をどういう方向に進めていくべきか今は大きな転換期に来ています。私は、教育の在り方というのは中央集権的・画一的であつてはいけないと思つています。学校であれば子どもたちを直接指導していただいている先生方、保護者の皆さん、まさにPTAの皆さんの思いや考え方が、これからの教育の在り方にしっかりと反映されなければなりませんと考えています。
全ての子どもたちが希望をもつて、安心してよい人生を歩んでいけるような教育を、ぜひ皆さんと一緒に考えて実現していきたいと思つています。

発行
長野県PTA連合会
長野市旭町1098信濃教育会館内
TEL 026-235-4361
発行者/大島 修
編集者/堀 紀美子

ホームページ
<http://www.pta-naganoken.net>

Facebook



令和元年度県P定期総会開催………
PTA広報紙「コンクール」結果………
「信州PTAモデル」に寄せて………
単位PTA訪問「北から南から」………
4 3 2 2



70周年ビジョンで発表された「信州PTAモデル」
(3面の「信州PTAモデル」に寄せて)をご覧ください)

冒頭の式辞で大島修会長は「これからも『学びと連携』を大切に、信州の子どもたちを育んでいきたい」と語つた。
式典では、過去10年間の歴代会長、事務局長、専務理事に阿部知事より感謝状が贈られた。また、70年の歩みを綴つた記念誌・県Pバッチ製作などの記念事業の報告や長野県PTA連合会の今後10年の道標として策定された「チーム信州PTA70周年ビジョン」が発表され、PTAのあるべき姿を再確認して閉会した。

- 感謝状受賞者 (敬称略)
- 26代会長 加藤二佐雄
 - 27代会長 勝家 満
 - 28代会長 今井 仁志
 - 29代会長 山崎 弘道
 - 30代会長 胡桃澤 公司
 - 31代会長 青木 一郎
 - 32代会長 北野 貴文
 - 事務局長 西村 敏幸
 - 専務理事 毛涯 三男



受賞者の方々

受賞者を代表して厚く御礼を申し上げます。
PTA活動には奉仕型、参加型、学習型の三種類があり、特に学習型PTA活動にしっかりと触れなくてはならないと結成60周年の折にも提言させて頂きました。
今年度、長野県施策のトップは「学びの県づくり」です。それを受けて県教育委員会では「学びの改革」を進めておられますが、学校や親だけでは十分ではなく、やはり「地域」の協力が欠かせません。
PTA活動は地域活動の第一歩です。私たちPTAを卒業したメンバーは、地域の教育力の担い手として精一杯尽力していきたいと思つています。

受賞者代表挨拶
第26代会長
加藤二佐雄氏

戦後の昭和23年に発足した長野県PTA連合会は70周年の節目を迎えた。昭和から平成を経て、令和へと繋がった本年度は新たなPTAの姿が求められている。
長野県PTA連合会結成70周年記念式典で発表された、「チーム信州PTA70周年ビジョン」において令和元年度からは「進化期」と位置づけた。時代の流れに沿つたこれまでの歴史を大切にしながら「大人の学びの機会」の提供をキーワードに、常に進化させるPTAの取り組みへの挑戦が始まった。

本年度は、本会が目指す理念を共有・理解していただくために長野県PTA憲章の解説文を作成する予定である。また、単位PTAや学級PTAが活性化し効果的事例を全県から広く収集し、分析をしたい。その結果を全PTA会員にフィードバックして「学びの機会」の提供に繋げ、PTA活動の一助として役立てていただけることを願つている。
各PTAで抱えている課題は多種多様であり、家庭においても子育てに正しい答えはない。だからこそ親や教職員が学び・連携することで、新しいアイデアが生まれてくると思う。会員の皆様には、小さな成功例や失敗例を提供していただき、80周年に向けてこれからもご協力をお願いしたい。(K・T)

長野県PTA連合会推薦!!

小・中学生総合補償制度に加入していただけましたか?!

補償内容例:Cプラン、年間保険料2,800円
※年間保険料2,800円に制度運営費200円を加算した掛金(3,000円)が振替されます。



自転車などの交通傷害保険
年間保険料僅か2,000円
賠償責任補償1億円の「Jプラン」を新設!!

ケガをした
通院1日目から補償
入院日額1,000円
通院日額850円

ケガをさせた
友達に大ケガをさせてしまった
保険金額3億円、示談交渉サービス付

物をこわした
友達の物をこわした
保険金額3億円、示談交渉サービス付

引受保険会社: 共栄火災海上保険株式会社
小・中学生総合補償制度担当係
電話: 026(234)2180

まずは長野県PTA連合会ホームページをご覧ください <http://www.pta-naganoken.net/>

長野県では、いよいよ10月1日から自転車を使用する場合に賠償保険等への加入が義務付けられます。
本制度は年間保険料2,800円で、最高3億円補償される賠償責任補償を兼ね備えた大変お得で優れた保険制度です。他の補償プランもごさいますので是非ご検討ください。詳しい補償内容は左記までお問い合わせください。

承認番号 B19-0607-20200702

令和元年度 長野県PTA連合会定期総会

子どもたちを中心に 大人がスクラムを組んで支え合う

生き活きとした大人の背中を大 子どももの学びの場の充実を三 地域での子育ての一翼を

長野県PTA連合会は5月31日、信濃教育会館において定期総会を開催した。県内16郡市代議員出席のもと、大島修氏が三期目の会長に選出され、令和への改元とともに次なるスタートを切った。

大島修会長は、冒頭の挨拶で「昨年度は現場との情報共有が十分とはいえないという課題への対策とともに、県Pを身近に感じてもらう機会を積極的に展開した『学びと連携』を加速した年だった」と振り返った。

続いて「長野県PTA連合会結成70周年記念式典では『チーム信州PTA70周年ビジョン』と『信州PTAモデル』を発表した。県P連合会は保護者と教職員との距離感が近く、厚い信頼関係で結ばれていること、関係諸団体との連携が密であることを目指している。これから『私』や『私の子ども』だけでなく、『私たちの子どもたち』と『私たちの子どもたち』として、みんなで全ての子どもたちを育てる意識とチームワークで、生き活きとした大人の背中を見せながら楽しく活動してほしい」と力強く語った。

祝辞を述べる三輪教育次長

来賓祝辞では、三輪晋一県教育次長が「子どもの側に立った学びや学びの場の充実させていくためには、子どもを取り巻く大人が目的や方向性を共有し、連携・協力・協働することが大事だと考えている。そのために、これまで全ての小中学校で設置されている信州型コミュニティスクールの仕組みを活用した取り組みを支援していきたい」と述べられた。

続いて、大日方真一信濃教育会事務局長は「未来のある子どもたちには、自らの夢や希望に向かって安心して明るくはつらつと歩んでほしい。子どもたちの成長を願う支える皆様のPTA活動が、点と線の活動でなく、互いの繋がりによる、面の活動として地域での子育ての一翼を担っていただきたい」と話された。

引き続き、第29回県小・中学校PTA広報紙コンクール入賞作品の表彰を挟んで、内藤謙代議員（松本市P）の進行で議事に入った。平成30年度事業報告及び決算報告、令和元年度の役員選出、事業計画案及び予算案が全会一致で承認された。

第29回 長野県小・中学校PTA広報紙コンクール

今年度は、73校（小学校52校・中学校21校）の応募があり、審査の結果16校が入賞の栄に輝いた。

最優秀賞

長野県教育委員会賞
☆長野市立東部中学校PTA
「東部」

優秀賞

信濃毎日新聞社賞
☆長野市立吉田小学校PTA
「なんてん」

（社）日本グラフィックサービス工業会
☆飯田市立伊賀良小学校PTA
「伊小PTA」

☆飯田市立伊賀良小学校PTA
「伊小PTA」

☆松本市立高綱中学校PTA
「高綱」

優良賞

☆佐久市立佐久平浅間小学校PTA

☆茅野市立湖東小学校PTA

☆松本市立旭町小学校PTA

☆松本市立鎌田小学校PTA

☆長野市立川中島中学校PTA

☆長野市立東北中学校PTA

佳作

松本市立開智小学校PTA

松本市立清水小学校PTA

松本市立菅野小学校PTA

長野市立三本柳小学校PTA

松本市立波田中学校PTA

長野市立戸隠中学校PTA
（小・中学校別の郡市順）

☆印の小・中学校PTAの広報紙が、全国小・中学校PTA広報紙コンクールに推薦された。（全国コンクールへの推薦規定により、小学校PTAから6点、中学校PTAから4点を推薦）

令和元年度 長野県PTA連合会会長表彰受賞者

長野県PTA連合会では、本会の発展に貢献した方々を定期総会において表彰している。本年度の受賞者は以下のとおり。（敬称略）

高見澤真紀（全 佐 久） 小林 恵（上 小）
由井千佳恵（全 佐 久） 塚田 英一（更 埴）
大西 孝一（全 佐 久） 浅井かよ子（更 埴）
中垣 交造（上 小） 小野 文久（上 伊 那）

向山 賢悟（上 伊 那）
中山 佳代（上 伊 那）
市場香代子（上 伊 那）
磯部 直子（飯 伊）
古畑 俊明（塩 筑）
倉田 治彦（木 曾）
石井 千史（安曇野市）
白鳥 郷史（安曇野市）

丸山 英樹（大 北）
佐々木 伝（松 本）
湯本 英俊（松 本）
黒岩 裕子（上 高 井）
新野 健（上 高 井）
金子 功（中 高）
山崎 明子（中 高）
福澤みゆき（中 高）

川口 彰（上 水 内）
内藤 正（長 野 市）
千野 和江（長 野 市）
花崎 哲也（長 野 市）
持田 貴康（教 師 幹 事）
小林 徹哉（教 師 幹 事）
橋本 郁子（副 編 集 長）
宮本 信子（編 集 部 員）
伊藤 由佳（編 集 部 員）

＝審査員の講評＝

- 全体的に見やすいレイアウトを心がけており、手に取って読みたくなる広報紙が数多くあった。
- 紙面の見栄えと readabilityを高めるために「見出し」と「写真」を見直してみよう。
- 見出しは、記事の要約であることを意識し、本文から単語を選んで作ることもできる。特にあいさつ文やインタビューでは、伝えたい内容を見出しにまで絞り込むことが大切。
- 手作り感満載の広報紙もあり、温かい気持ちになった。
- 地域の人々など、学校を支えている人々の紹介記事はとてよい。

島田PTA会長と畑田 報部長に話を伺った。以下はお二人が語った内容。

工夫した点は、昨年度初の試みとなった「タイムリー号」の発行です。機にに応じて情報をその都度届け、より多くの会員にPTA活動への興味を持ってもらうのが目的でした。7月と2月発行の定例日より「東部」の間に8回発行しました。



笑顔の島田PTA会長

受賞者インタビュー

度届け、より多くの会員にPTA活動への興味を持ってもらうのが目的でした。7月と2月発行の定例日より「東部」の間に8回発行しました。親子で取り組める内容にしました。取材でしか会う機会のない方々の話が参考になりました。



「東部」(定例日よりタイムリー号)



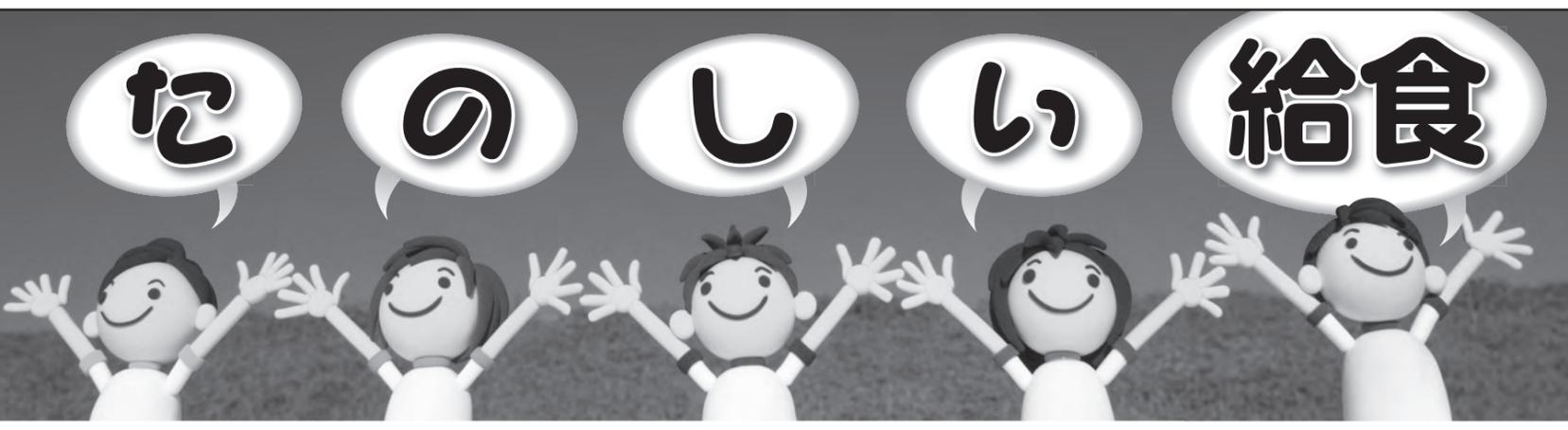
「高綱」



「伊小PTA」



「なんてん」



子どもたちのために 公益財団法人 長野県学校給食会 〒381-0103 長野市若穂川田3800番地5 TEL 026-282-6080 FAX 026-282-6535

令和元年度 委員会活動

子どもの頃の夢

総務

パイロット

小林 智(さとる) 委員長
(飯水 栄小学校)



各種PTA活動の推進及び、将来に向けた県PTAとしての方向性を確認する機会の提供に貢献していきます。

- 小・中学生総合補償制度の加入促進に関する活動
- 長野県PTA憲章の会員への周知と浸透に関する諸活動

広報

地元スキー会社の社長

神津 貴志 委員長
(上小 東御東部中学校)



長野県PTA新聞やホームページ、フェイスブックを通して、郡市PTAの活動や各専門委員会の取り組みを紹介します。PTA活動の支援につながる事例を紹介するリーフレットを作成します。

- 長野県PTA新聞の編集と発行(年2回)
- ホームページ、フェイスブックなどによる広報活動
- 第30回長野県小・中学校PTA広報紙コンクールの企画と運営
- ハンドブック「よりよいPTA」の編集と発行
- 第10回長野県三行詩コンクールの企画と運営
- 広報リーフレットの作成

子育て

保育士

森 しのぶ 委員長
(大北 大町第一中学校)



家庭の教育力向上、学級PTAの充実、地域との連携を目指し、学校と家庭と地域の教育バランスが整うよう会員相互の対話が伴う研修事業を推進します。

- 陽だまり懇談会及び陽だまり研修会の企画と運営
- 学級PTAの活性化のための効果的な事例調査の集約と分析

活動支援

航空自衛隊のパイロット

森山 康晴 委員長
(飯伊 喬木第一小学校)



各単位・郡市PTAの課題などを把握・共有し、新役員研修会を主軸に会員や役員に必要な知識や情報などを提供し、活動の更なる向上に貢献していきます。

- PTA新役員研修会の準備と運営
- 16郡市PTA連携懇談会(組織運営の部)の準備と運営
- 28次・29次研究委嘱PTAへの支援、30次PTAの選考

教育連携

教員

小川 節(たかし) 委員長
(木曾 南木曾中学校)



教育に関する様々な問題や課題について対応・検討をします。「学びの改革」について保護者はどのような事ができるのか、どんな方向に進んでいくことが望ましいのか、現状との差が何処にあるのか協議し、保護者の在り方について考えていきます。

- 県教育委員会との懇談会の開催
- 16郡市PTA連携懇談会(教育課題の部)の準備と運営
- 長野県小・中学校長会との懇談会への協力
- 「学びの改革」について保護者に求められる役割の協議と提案

長野県PTA小・中学生総合補償制度

「長野県自転車安全で快適な利用に関する条例」が公布されました。令和元年10月1日から自転車の使用者に賠償保険等への加入が義務づけられます。「長野県PTA小・中学生総合補償制度」に子どもが加入すると、家族全員に賠償補償が適用されますので、是非ご利用ください。詳しくは長野県PTA連合会のホームページをご覧ください。

(<http://pta-naganoken.net/>)

私が上小PTA連合会会長として長野県PTA連合会に初めてお世話になった平成27年度は、大きな変革の真只中でした。平成25、26年度にあり方検討委員会、そして平成27年度に改革委員会を立ち上げ、活発に議論を重ねながら、新たなPTA組織の姿を模索してまいりました。



「信州PTAモデル」に 寄せて

この当時、別の方面からは、県PTAや郡市PTAの存在意義を問う声もあがり、まさに混沌とした状況であったと記憶しております。

その頃、ふと感じたのは「PTAは誰のための、何のための組織なのだろうか?」といった、とてもシンプルな問いでした。

私たちは、子どもたちを中心に、という想いはあるものの、とかく組織の維持や事業を優先しがちでした。保護者と教職員、県PTAと郡市PTA、県PTAと教育関係諸団体との距離を感じる場面もありました。

そこで、学生時代から体育会系の世界で生きてきたこともあり、人一倍チームとしての一体感を大切にできたので、ス

ローガンに「チーム信州PTA」を掲げました。そして、皆様と意識の共有をしやすくするために、リングをモチーフに表現してみました。

保護者と教職員による 子どもの未来づくり5か条

- 第1条 **学ぼう!** 子どもと自身の成長のために
- 第2条 **築こう!** 家庭と学校の信頼関係を
- 第3条 **見守ろう!** 子どもの健やかな成長を
- 第4条 **繋げよう!** 家庭・学校・地域を太い絆で
- 第5条 **伝えよう!** 郷土の文化と美しい自然を

~子どもと一緒に様々な体験を~ 私たちの 信州育み宣言

未来を担う子どもたちの内なる力を信じ
社会でたくましく生き抜く力を育みます

長野県PTA連合会 長野県PTA憲章

令和元年度 長野県PTA連合会役員名簿

会長	大島 修 (上高井)	宮川 浩 (中高)	桂本久美子 (保護者)
副会長	(東 信) 神津 貴志 (南 信) 森山 康晴 (中 信) 小川 節 (北 信) 小林 智 (母 親) 森 しのぶ (教 師) 池田 純一	(中 高) 佐野 香里 (上水内) 柳澤 史樹 (飯 水) 堀内 智史 (長野市) 小林 正和 (東信母親) 黒岩 宏美 町田由美子 (南信母親) 小飼 明子	五味 明美 竹腰 弘恵 柄澤みゆき 小野みさき 石田 房子 山岸 優子 外山あけ美 降旗 丈美 上原佑実子
専務理事	小山 修二	(南信母親) 小飼 明子	堀紀美子(兼)
監 事	(父 親) 駒場 豊 (母 親) 関 育美 (教 師) 湯本 和子	松澤 千佳 (中信母親) 青木 和美 山本 美帆 (北信母親) 野本 沙織	林 明美 (保護者) 小林恵美子
顧 問	千野 貴文	(北信母親) 野本 沙織	西澤 洋子
理 事	(全佐久) 西部 元和 (上 小) 神津 貴志(兼) (更 埴) 寺澤 孝一 (諏 訪) 雁木 周平 (上伊那) 酒井 裕司 (飯 伊) 関 耕介 (木 曾) 牛丸 梓 (塩 筑) 鈴木 紳平 (安曇野市) 北澤 宏和 (大 北) 傘木 誠 (松本市) 内藤 謙	(教 師) 伊藤美知子 (教 師) 浅野 真澄 松島 良次 宮澤真由美 小林 康彦 加藤 好章 谷口 陽治 山田 敏彦 堀 紀美子 蟹澤 友司 松本 雄二	新聞編集部(教師) 堀紀美子(兼) 林 明美 (保護者) 小林恵美子 西澤 洋子 井上 亜里 森山 奈々 宮尾 彰一 黒岩 直貴 小林 朋子
			事務局(事務局長) 滝澤 幸 (書 記) 木内 京子 (臨時書記) 宮川さやか



僕たち! 私たち!
がつくっています!

信州の牛乳を飲もう!

長野県生乳生産販売委員会
信州 JA全農長野
長野県牛乳普及協会

毎年開催の料理コンクール受賞作品のレシピ等ご覧いただけます。

やっぱ信州の牛乳でしょ

検索

